



「がん」について調べる

富山県立図書館
2018年6月1日作成

「がん」を調べるとき、最初の手がかりとなる図書や情報をご紹介します。関連する『病院』を調べる「医療情報を調べる」などもあわせてごらんください。

- *この調べ方案内は、特定の病院や治療法をすすめるものではありません。
- *症状等により治療の流れが異なります。データの根拠や出典を確認してから、情報を判断してください。
- *情報は古くなる場合があります。図書の刊行年やウェブサイトの更新日に注意し、最新情報を探してください。

目次

1. 図書を探す	3. 雑誌・雑誌記事を探す
2. 関連図書(一例)	4. インターネットで調べる

1. 図書を探す

○テーマの棚に行って探す 図書には1冊毎にテーマを表す分類番号が付いていて、この番号順に書架に並んでいます。当館では日本十進分類法(NDC)6A版を使用しています。分類番号の「491.6」(医学)、「493」～「497」(各診療科目)の棚をご覧ください。

◆蔵書検索から探す 富山県立図書館所蔵の資料は、富山県立図書館ウェブサイト「図書・雑誌検索」から探せます。<http://lib2.lib.pref.toyama.jp/opac/WOpacTifSchCmpdDispAction.do> 「胃がん」「胃癌」「胃ガン」のように表記が異なる書名等も、件名「胃癌」で検索すると、関連資料をまとめて探せます。

役立ちそうな資料が見つかったら、書誌詳細画面の「分類記号」や「件名」の内容をクリックして、同じテーマの本を探すこともできます。

検索項目で「全項目」を選択し、キーワードで検索すると、関連資料を探せます。

1つのキーワードで検索結果が多くなってしまう場合には、複数のキーワードを掛け合わせて検索すると、検索結果を絞り込むことができます。

2. 関連図書(一例)

○がんについて知る

・『がんになったら手にとるガイド 患者必携』(学研メディカル秀潤社 2011)【491.6/515】

がんの診断や治療、療養生活で困ったこと・不安に感じるようになってきたときに必要とされる情報をまとめたガイドブック。新版は国立がん研究センターのウェブサイト「がん情報サービス」で閲覧可能(https://ganjoho.jp/public/qa_links/hikkei/hikkei02.html)。

・『がんに関する冊子「各種がんシリーズ」』(国立がんセンター 2009)【491.6/483】

国立がん研究センターのウェブサイト「がん情報サービス」で、各種がんについての小冊子を公開。一般の人に分かりやすく、随時更新され、最初に知識を得るのによい。ウェブページや印刷用冊子のほか、音声データも利用可能。ほかにも、療養や社会的対応等の多様なテーマで小冊子を公開している。(https://ganjoho.jp/public/qa_links/brochure/cancer.html)

○診療ガイドライン→パスファインダー「診療ガイドライン」を調べるも併せてご利用ください

疾病ごとに、治療に関する適切な判断を下せるよう、治療の実績や、学会での研究を踏まえて作られた診療の目安。最新の治療法を含め多くの情報から有効性、安全性などを整理し、診療の指針を示す(参考『病院の言葉を分かりやすく』(勁草書房 2009)【490.3/91】)。医療従事者向けのほか、やさしく解説した一般向け資料が作られている場合もあり。

・『患者さんのための乳がん診療ガイドライン2016年版』(金原出版 2016)【495/278/N16】

乳がんの予防・検診・治療・検査・療養等に関する重要な項目を、Q&A方式で分かりやすく解説。医療者向けの『科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン』と交互に刊行されている。

○がんの治療・医療・ケアについて知る

・『がんとお金の本』(ピーケイシー 2011)【県人文庫ㄉ,498.1/1186】

ファイナンシャル・プランナーである著者が、がんになったときのお金の話を中心に、自身のがん体験を通じて執筆。

- ・『がん患者の「知りたい」がわかる本』(じほう 2016)【491.6/602】
がん患者からよく寄せられる生活上の悩みや疑問をまとめたQ&A集。患者を支援するためのヒントが満載。
- ・『重粒子線治療・陽子線治療完全ガイドブック』(法研 2016)【491.6/608】
切らずに治すがん治療として注目される重粒子線治療・陽子線治療について、治療の特徴や実際、部位別の治療法などをわかりやすく解説。国内の治療施設も紹介。
- ・『抗がん剤のすべてがわかる本』(学研パブリッシング 2013)【491.6/549】
抗がん剤治療とはどんな治療法か、基本的な考えから課題まで幅広く解説。さらに抗がん剤の種類と性質や、がん種類別の新しい抗がん剤治療、150種類以上の抗がん剤の特徴・投与方法・副作用も紹介。
- ・『ご家族のためのがん患者さんとご家族をつなぐ在宅療養ガイド』(日本医学出版 2016)【491.6/603】
家族や友人など、がん患者の周りの人向けに作成したガイドブック。がんを患った人が、その人らしい生活を維持しながら、自宅や施設などの身近な場所で過ごすときに役立つ情報を、対話形式で紹介。
- ・『がん研有明病院の抗がん剤・放射線治療に向きあう食事』(女子栄養大学出版部 2014)【491.6/580】
抗がん剤・放射線治療をしている人に向けて、治療中の「味覚障害」「におい過敏」「飲み込み困難」「食思不振」のときに役立つ食事のくふうを紹介。
- ・『国立がん研究センターのこころと苦痛の本』(小学館クリエイティブ 2018)【491.6/637】
がん患者の心の苦しさ、体の痛み・吐き気などへの対処法、相談先を紹介。実際の患者の事例も多数収録。
- ・『臨床で活かすがん患者のアピランスケア』(南山堂 2017)【491.6/639】
がん患者の外見に関する治療の理解から日常整容行為の指導まで、アピランスケアの実践に役立つ知識を具体的に詳説。外見に影響する抗がん薬の一覧や、他分野の専門家との連携の際の注意点も紹介する。

○がんと生きる・がんと社会

- ・『がん患者の家族を救う55のQ&A』(アイエス・エヌコミュニティ・パブリッシング事業部 2017)【491.6/631】
がんを理解するコツ、医師・看護師・病院とのつき合い方、自分の癒し方・守り方、お金のこと、残された時間の過ごし方など、がん患者を抱えている家族の疑問や悩みに対する答えをQ&A形式でまとめる。
- ・『がんの親をもつ子どもたちをサポートする本』(青海社 2017)【491.6/638】
発達途上の子どもがいる親ががんになるということは、家族全体にとっての「非常事態」であり、子どもに与える影響は大きい。子どもたちの支援のために知っておきたいこと、支援プログラムの実際について解説する。
- ・『がんになった親が子どもにしてあげられること』(ポプラ社 2018)【491.6/635】
「がんになった親」が「子ども」にできることは何か。子どもにがんを伝えるための方法、周囲からのサポートを得る方法、残された時間の過ごし方などを紹介する。「がん」と向き合うために必要な情報も掲載。
- ・『がん経験者のための就活ブック』(合同出版 2015)【366.3/536】
病気のことをどこまで言えばいいの？ これからも働きたいけど、会社には迷惑？ 再スタートをきりたい、がん経験者に向けて、履歴書の書き方、面接の受け方、病気の伝え方など、就活に必要な具体的なノウハウを紹介しします。
- ・『企業のためのがん就労支援マニュアル』(労働調査会 2016)【366.3/514】
従業員ががんと診断されたときに事業場がどのように対応したらよいか。円滑に対応するための職場づくりやがん就労支援の実際を紹介する。日頃の対策、休職、復職時の対応も収録する。
- ◆紹介した資料は、当館が所蔵する資料の一部です。他にも医療情報検索に役立つ資料を取り揃えています。お調べになりたい情報が見つからないときは、お気軽に職員にご相談ください。

3. 新聞や雑誌の関連記事を探す

○雑誌記事 雑誌記事や論文は、データベースで探すことができます。

- ◆総合的なデータベースとして、『国立国会図書館オンライン』(<https://ndlonline.ndl.go.jp/#/>)「CiNii Articles - 日本の論文をさがす」(<http://ci.nii.ac.jp/>)があります。
- ◆館内で利用できる「JDreamⅢ」は、医学・薬学を含む、科学技術系のジャーナルなど約 5,900 万件(2013 年 3 月現在)の文献情報を収録したデータベースを、一括で検索することができます。医療従事者向けの文献情報が多いですが、治療法の傾向や、各治療法を実施している病院を探す際の参考にすることができます。検索した結果、富山県立図書館に目的の雑誌の所蔵がない際も、複写物の取寄せができる場合がありますので、ご相談ください。

◇雑誌記事の例

記事名	掲載誌
小児がん（特集 移行期医療：小児期から成人期への円滑な橋渡しを目指して）	医薬ジャーナル / 医薬ジャーナル社 [編] 53(1)=643:2017.1 p.69-74
特集「AI&ゲノム」が一変させる「がん治療」の最前線	週刊新潮 / 新潮社 [編] 63(20)=3138:2018.5.31 p.42-45
公的制度の相談先一覧つき 高額療養費、傷病手当金、医療費控除…… がんになったら申請したいお金のハンドブック（宣告 手術 治療：経験者のリアル がんサバイバーたちの声）	婦人公論 103(10)=1494:2018.5.22 p.126-129
がん患者の非がん性疼痛（特集 痛いほどよくわかる! 慢性疼痛治療薬のキホン；患者背景に応じた慢性疼痛マネジメントと注意点）	月刊薬事 = The pharmaceuticals monthly 60(5):2018.4 p.850-854

○新聞記事 富山県立図書館で利用できるデータベースです。別館2階情報プラザで利用できます。

- ◆「日経テレコン21」(日本経済新聞デジタルメディア)
日経 4 紙 <日本経済新聞、日経産業新聞、日経流通新聞MJ、日経金融新聞>の新聞の全文検索ができます。
- ◆「県内記事情報検索」(富山県立図書館)http://lib2.lib.pref.toyama.jp/search/search_input.aspx
富山県に関する主要な新聞記事、雑誌記事の見出しが検索できます。

◇新聞記事の例

記事名	掲載紙
がん患者への支援充実 県内罹患率上昇 病院外の相談窓口多様化(リポート2015)	北日本新聞、朝刊 2015/05/08 P28
がん理解、中学生から、21年度指導要領に明記、予防や患者の気持ち学ぶ、医師を学校に派遣へ。	日本経済新聞 2018/01/26 夕刊 p11

4. インターネットで調べる

- 「がん情報サービス」 <http://ganjoho.jp/public/index.html>
独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センターによる一般の方向けの情報提供サイト。
- 「がん情報サイト」 <http://cancerinfo.tri-kobe.org/>
先端医療振興財団 臨床研究情報センターが、米国国立がん研究所とライセンス契約し、包括的な最新情報を配信。
- 「海外がん医療情報リファレンス」 <https://www.cancerit.jp/>
一般社団法人日本癌医療翻訳アソシエイツが、海外のウェブサイトから許諾を得てがん情報を翻訳、提供する。
- 「厚生労働省 がん対策情報」
http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/gan/index.html
国のがん対策に関する施策を紹介している。
- 「富山県がん総合相談支援センター」
<http://www.toyama-shakyo.or.jp/gan-soudan/#subtop>
がん患者やその家族が、不安や悩み、知りたい情報を相談でき、解決に向けてサポート。
- 「日本対がん協会」 <http://www.jcancer.jp>
がん知識の普及啓発、がん検診によるがん予防運動、がん電話相談。
- 「NHK 福祉ポータルハートネット お役立ち情報「がん」」
<http://www.nhk.or.jp/heart-net/themes/gan/>
「生きづらさ」を抱える全ての方々のため福祉番組。
- 「がんサバイバークラブ」 <https://www.gsclub.jp/>
日本対がん協会が「治りたい」「普通の生活がしたい」等の観点から、情報を提供。注目ニュースなど随時情報更新。
- 「闘病記ライブラリー」 <http://toubyoki.info/>
NPO 法人「連想出版」の運営するサイト。がん以外にも含めて約700冊の闘病記を病名から探せる。表紙のほか、目次 情報やまえがきが閲覧できる場合がある。
- 「統合医療」情報発信サイト」 <http://www.ejim.ncgg.go.jp/public/index.html>
厚生労働省が開設し、情報の見極め方や参考になる冊子やウェブサイト、海外の情報等を紹介している。

※リンク先等の掲載内容については、富山県立図書館が責任を負うものではありません。予めご了承ください。